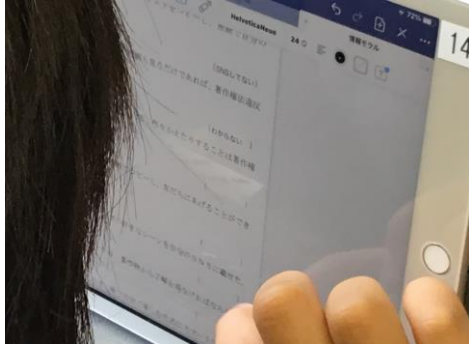
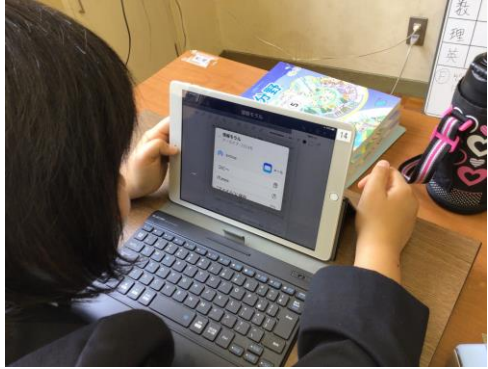


1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山盲学校	実践者名	渡邊和英
実践場面 (教科、領域、行事等)	中学2年 技術		
単元・題材名	情報セキュリティと情報モラル		
学習目標・ねらい	・ 事件、犯罪から身を守る方法を知る。 ・ 人権、知的財産権などの権利を尊重する必要性を考える。		
対象の児童 生徒の実態	視覚障害者4名（内2名全盲）		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
(1) Classroomにアップしておいたプリントデータ（PDF）をダウンロードする。			
			
(2) ボイスオーバー（読み上げ）機能を利用する。			
(3) Good Note で開いて、解答しメモをとる。			
		(8) 知らない人から来た電子メールを読まずに捨てた。 (O) (9) SNSで知り合った人に名前をたずねられたが、断った。 (O) (10) インターネットを使って情報収集するときには、個人の考えなどがももになった信ぴょう性が低いものも多いので、情報の出所を確かめたり、複数の情報を探したりしたほうがよい。 (O) (11) ネットワークの利用では本名を言わなくても情報のやり取りができてしまうので、どんな情報でも流してもよい。 (X) (12) Web ページなど不特定多数の人々が見る情報を発信するときは、良識をもって責任のある表現や発言をする必要がある。 (O) (13) 他人の秘密や個人情報も、必要としている人々がいるのだから、インターネット上に公表することは意味深いことである。 (X) (14) SNSや掲示板、チャットなどに、誤解されそうな表現や書き方、わざわざ相手の気分を害する表現や書き方をしないようにするなど、いつも気をつけるべきである。 (O)	
活用のポイント・改善策等			
・ iPad には、ボイスオーバーや入力フィードバックの機能がある。また、文字や図の拡大や白黒反転等も容易に行うことができ、これらのアクセシビリティを活用する。			
・ Good Note には読み上げ機能がないので、全盲の生徒には対応しきれない。そこで、ワードやドキュメントを使って答えのみ別で入力してみる。（2画面設定にして、別ファイルで保存）			